

銃取極法

零本

洋学文庫  
文庫8  
C 476



41-11140

床尾 フル 中は 斜背 ヘルリグ 鼻 子ウス 頬 ワシグ 外板 ホイテ  
 内板 ビニ子 ソラット 踵 ヒイル 味 ベキ 等の細名を多々  
 銃を離解 さるま する 鎗を抜き 搦杖を抜き 條帶を  
 搬軌 ヒキカ子 を引く 機を落し 床尾を左腋に抱き S字に  
 へりめ 機を左手に持ち 二個の機累を旋し 銃を  
 を解き 去る 若し 機密は 床木を合し 去る 此を  
 木を以て 軽し 床の左側を打つ べし 次は 帶環の目  
 の目釘を打ち 抜き 此二物を取り 又次は 十字螺  
 旋し 環を 鑲板を解き 三箇を 取つ 銃筒を取出す  
 目釘を 抜く 下 Y の下 最細き 処を 以て 打つ べし 切は 鉄釘等  
 の如き 粗き 物より 打つ 勿き 又 尾累は 決して 旋解 する 勿し

ト

次は

は向

機

一片

搬軌

累を

強く解んぐ欲する銃工は托豆(トマ)の字板床尾板も亦解出  
る稀なり

銃の錆を除くはアマリール石は河利機油をはききりて磨  
すはよ軟木と尖細なる刷を用ふアマリール無き時ハ  
ニドを細羅きて篩ひるを用へ但し細処を磨くは  
石罫

と磨くる者よて油よて磨くべし黄銅の処ハ青石よて  
必ず油を用へうだん油ハ銅を蝕むと多ル化をなす  
く

くは木柄柄の鉄杖は二個の発條柄者を用ふ木柄  
一孔有り此は布片を結び腹中を琢くあり  
此

常銃馬銃の筒ハ二萬五千發の後ハ非きを損壞す  
○銃ハ製銃館より取る時之を擇むる最良の者を取  
る

此

戮記を打つなり

銃筒は打つ戮記五有り其一當時鑿擇せし人の名頭  
あり其

其二銃筒と交收し底冊と筆記する人 コントレ の名  
あり

其三撰擇する年記其四尾螺の模型の示教其  
銃筒

下端の上面は記し家 錨の十字交 機ハ之交收し  
名

頭を戮り 床尾ハ正中ハW字を刻し上面ハ  
せふ

入の名を記し下面ハ交收せし人の名を記し右ハ  
紀を

記し左ハ月名頭字を記し 又撰除きしハ戮記  
あり

あり

銃ハ一萬九千發以往ハ火門爛大し改填せしきを用極く  
粗射銃ハ短き銃よりハ孔中常ハ異ハ装弾の法亦異ふをい

巧手あきを用き必命中切実なる下常銃の及ぶ所は即  
銃口の形七稜より其各稜より小なる圈を造る者と同  
腹中皆此形なり然きとも其小圈より生ずる所の溝一直  
腹内は通らん上より下に至り漸徐に勾曲し一圏  
七稜の内圈其径恰も十八分の一量なる彈と  
適し是即ち通常用する所の彈なり銃筒の外面  
五寸三分太き其下端は於て二寸八分八厘上端は於  
分一厘恰も八稜尖柱の端を截る者の如し其前部  
の照星より後部の端より一掌七寸の処は又二個  
あり其短き者ハ鐸着し長者ハ屈膝より起臥  
ハ三個の眼を鐸着し是銃筒を床に固定するハ  
面は

るあきなく栓<sup>スチ</sup>と螺旋とを用きをなり螺旋二  
の處は施し棚杖の下は於て銅製の床の錠鍊と  
を通行して銃筒の内は螺定し一ハ稍後ハ施し  
帶環を螺定し又後ハ於て二処は栓を施し且  
旋入り機も亦扶助する物なり不虞の危禍を所  
空りて火石を此内は蔵し發條は撞益を以て之  
杖ハ尋常の者より太く端は銅球を附し是き筒  
損せらるる為なり又此銅球ハ此螺と造り轉彈子  
となり其他ハ常銃は同一○包ハ狙射包<sup>ビクス  
トリン</sup>云者を  
用い彈ハ「ヒルヘル」云脂皮を以て包み棚杖ハ木槌を  
以て美上まで打ち入りなり是より彈形変りて恰も

一ハ銃口

床木

一部

丁螺

一ハ一

フ棚

四を

足

トリン

木槌

恰も

銃筒の飛く為る故に其射發する時は當て彈直出せん溝の廻  
 曲して成る所の圈は隨ひ發出しむじ去る時も折廻つて飛  
 行くなり是を以て命中苗頭少し

狙射銃の量ハ大約和蘭の三斤九兩五錢なり

火石

數種あり採黑色の者ハ帶黄色の者より一倍久く保つ

元々

為る其大サ

燧のハ 長 四寸六分  
 或四寸

廣

四寸四分或  
 三寸八分

厚 一寸三分  
 或一寸

常銃のハ 長 三寸三分或  
 二寸九分

廣

二寸九分或  
 二寸四分

厚 九分或  
 六分

馬銃のハ 長 二寸四分或  
 二寸二分

廣

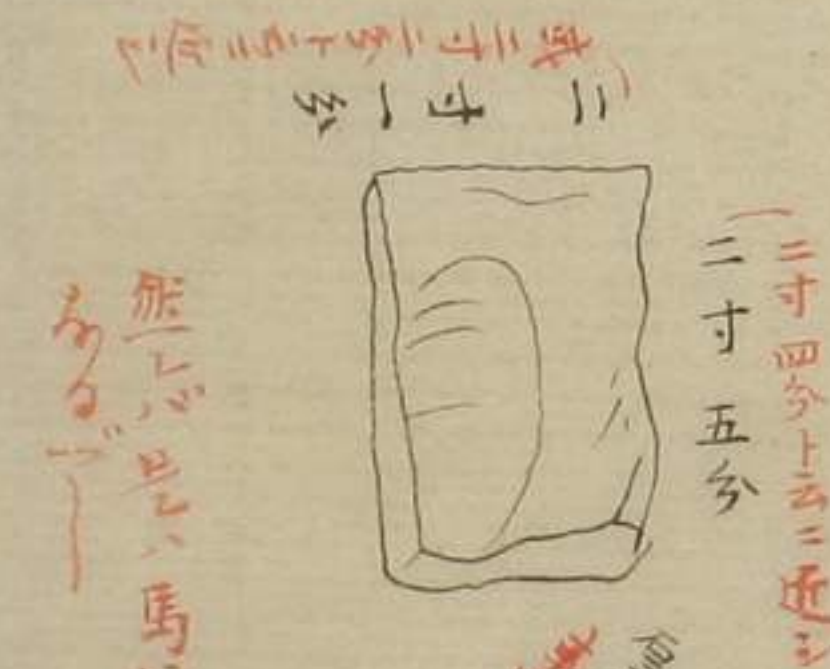
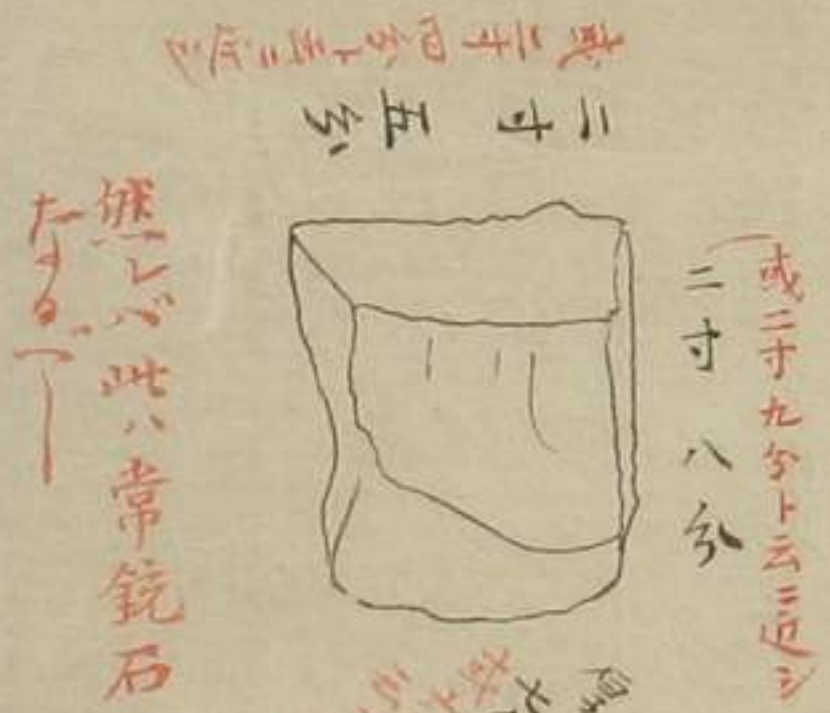
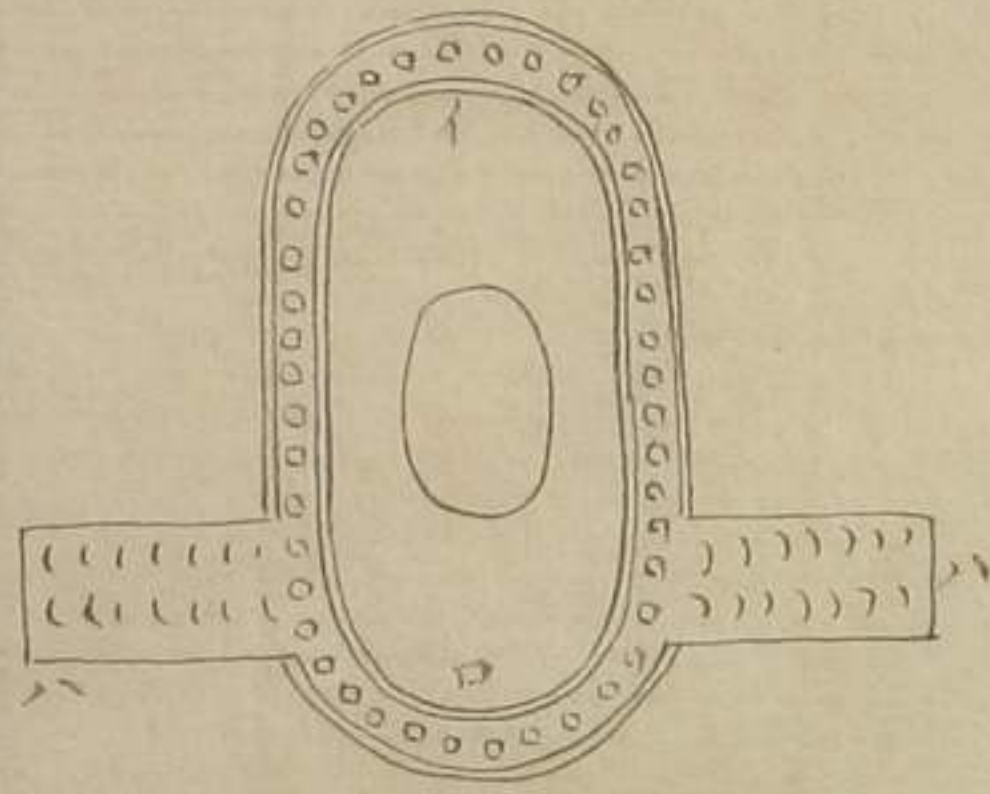
二寸四分或  
 二寸二分

厚 六分半或  
 四分半

其斜形の部ハ全長三寸ハの處まで至るべし九火石ハ 中せハ

損々持日輝は當ると忌む故に密閉して蔵せし一當用あり  
 する火石ハ長方形にして刺蓋あり箱は蔵するあり此箱ハ摺り  
 て二部は多ち一ハ火石を容るべし一ハ鉛板 口ノデを容るべし鉛  
 板ハ下図の如くして火石の下面を下し其最も厚き處を孔  
 の中央に當ててイの處に置け口の處を打返して其上面を掩  
 ひ次子ハハの處を下し折返す

捲藏火石図 一個



捲藏火石 一個



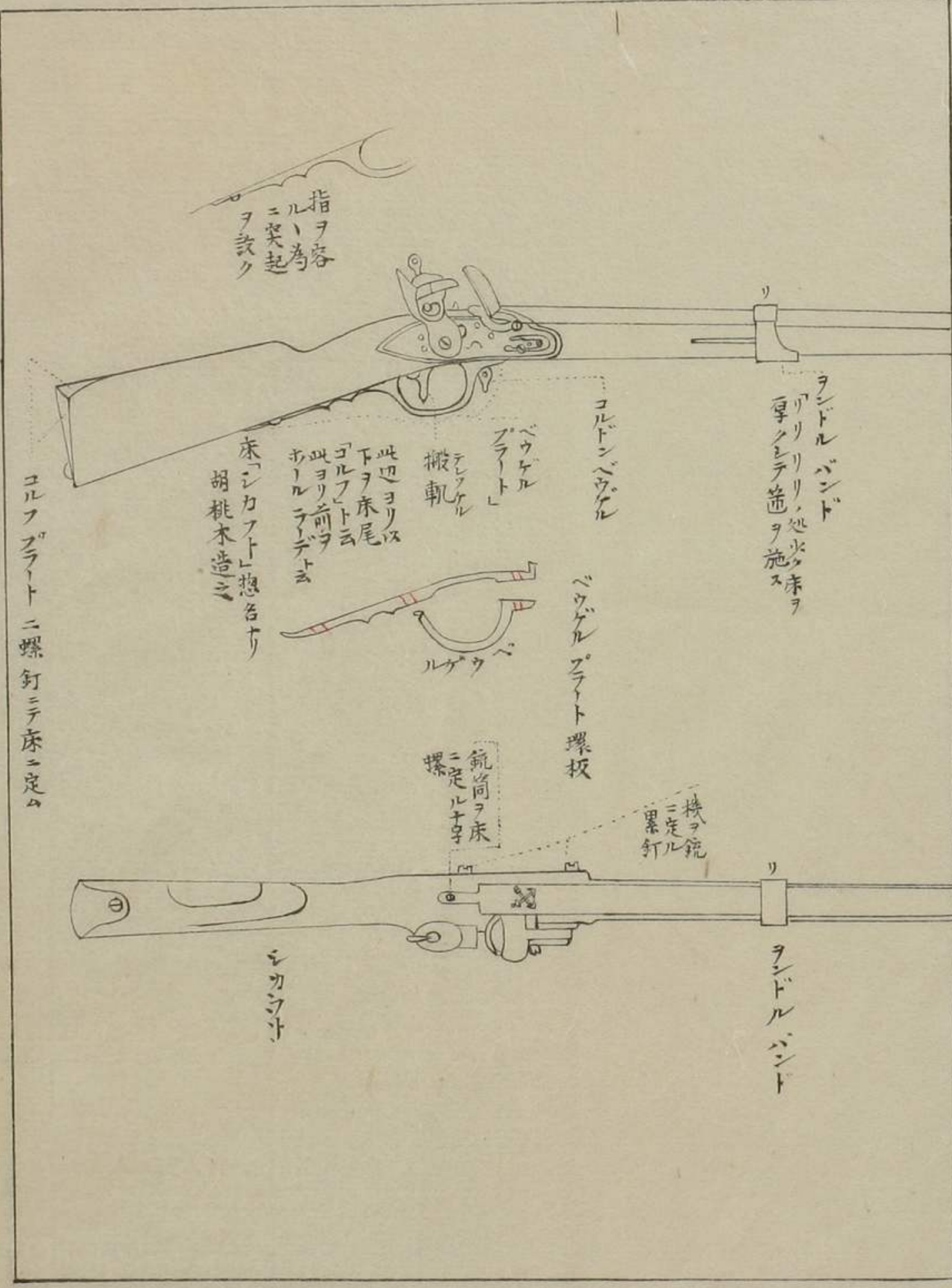
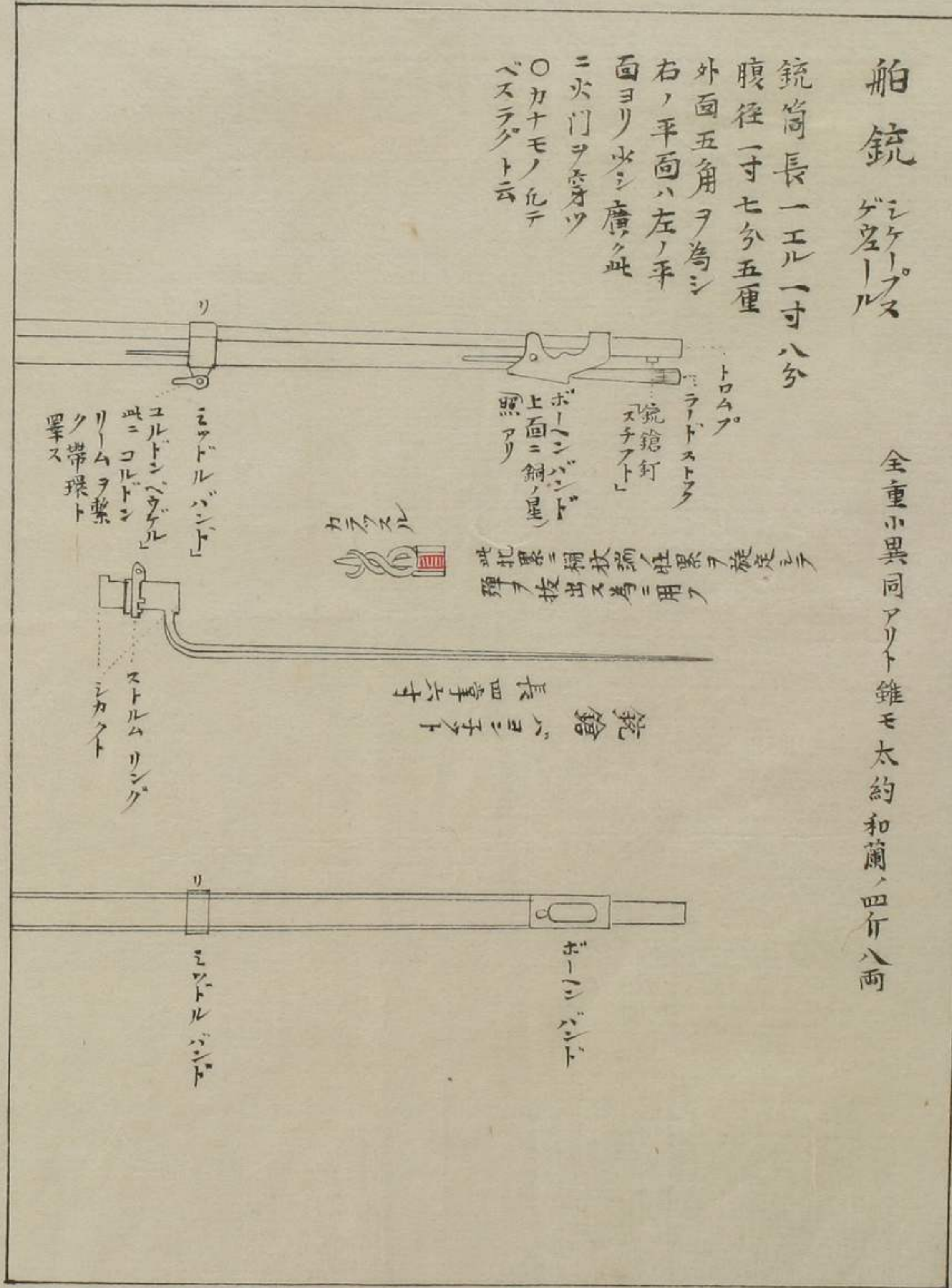
時辰 九點 一節

此中或中繪之ニセテハ明クコトカハ其ノ一ニ排テ置ケル  
或ハ一區ニテカクテハ其ノ一ニ排テ置ケル 此ハ知リ  
此ハ其ノ一ニ排テ置ケル 此ハ其ノ一ニ排テ置ケル  
此ハ其ノ一ニ排テ置ケル 此ハ其ノ一ニ排テ置ケル  
此ハ其ノ一ニ排テ置ケル 此ハ其ノ一ニ排テ置ケル

船銃  
ゲネロプス

全重小異同アリト錐モ太約和蘭四斤八兩

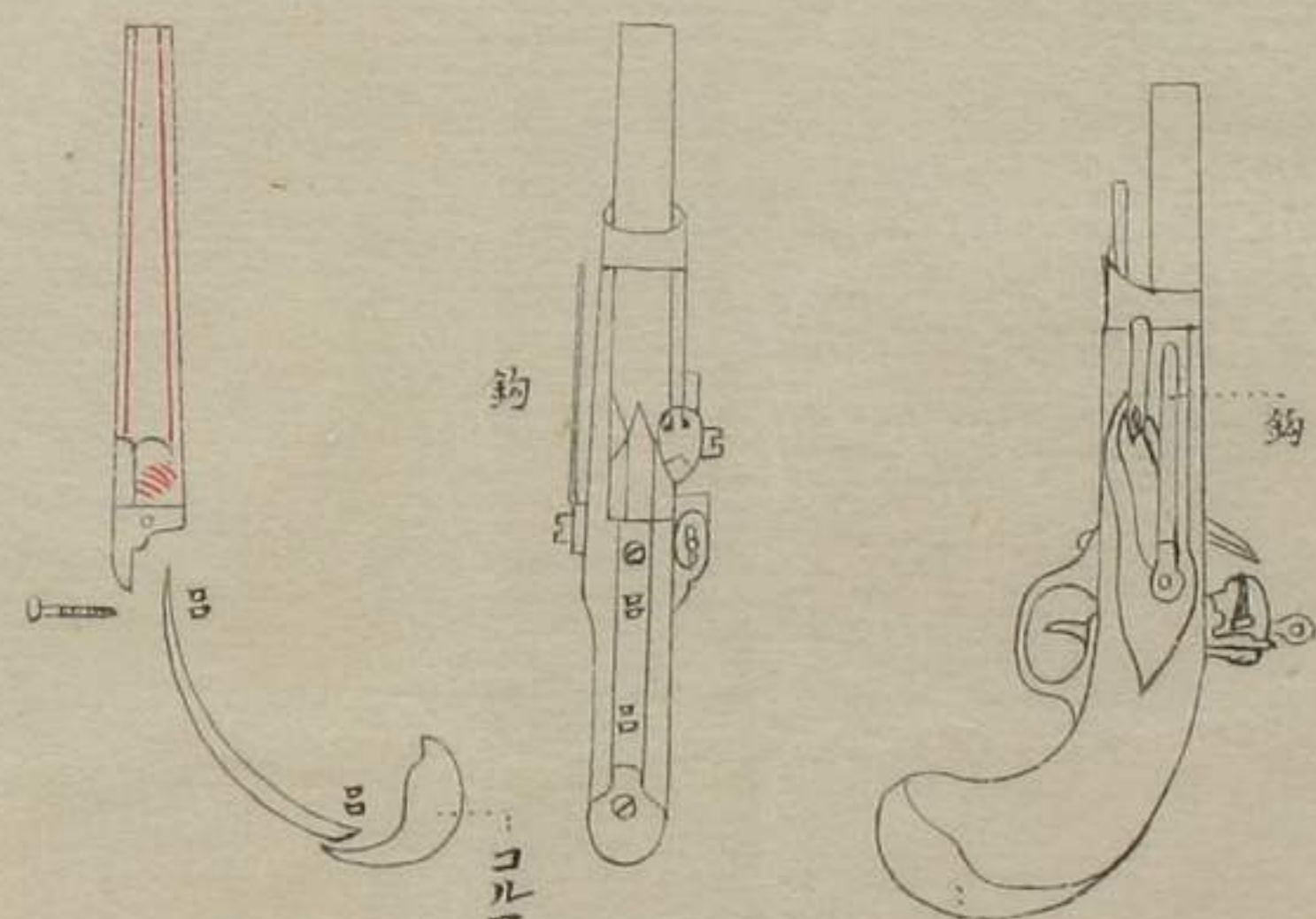
銃筒長一エル一寸八分  
腹径一寸七分五厘  
外面五角ヲ為シ  
右ノ平面ハ左ノ平  
面ヨリ水シ廣ク此  
ニ火門ヲ添テ  
○カチモノルテ  
ベスラクト云





船馬銃

シケイブス ピストル  
全重大約和蘭一斤三重九錢

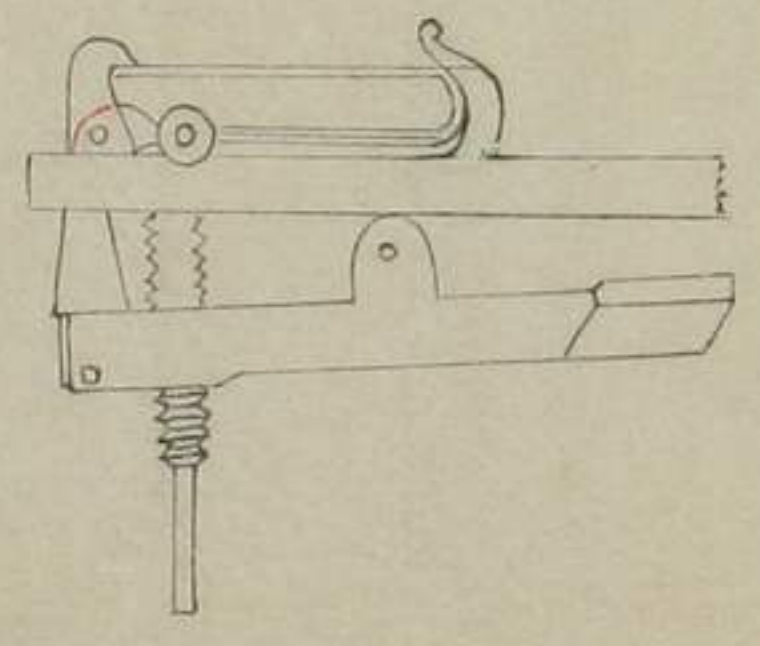
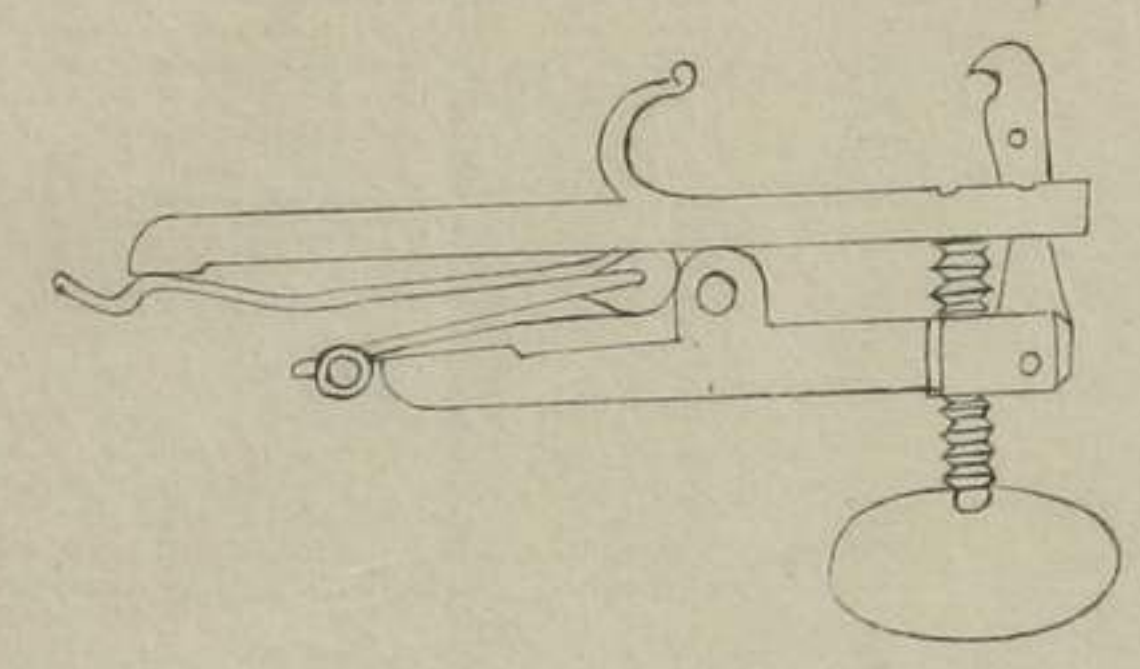


筒長和蘭ノ二掌令令八重六毛腹徑一寸七分一厘外面五角ヲ為シ左右ニ面最廣シ  
○S字板、環、床尾板ハ黃銅其他ハ鉄ヲ以テ造ル  
○鈎ハ銃ヲ帶ニカクル為ニ設ク



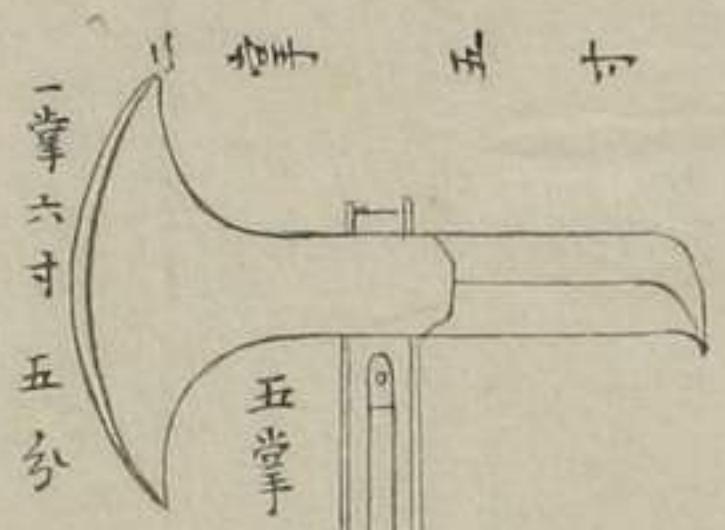
イロノ両又ハ扁クニテ  
累旋頭ノ溝中ニ容  
ル、ニ便シ一又ハ田  
シテニ処ハホ処ヨリ  
更ニ細シ

○呂ハグレノベツケル把環ヲ床尾ノ形ニ隨テ句  
曲シ木中ニ嵌入ス此ハ把処ヲ堅牢ニスル為ニ  
ナリ



鉤斧

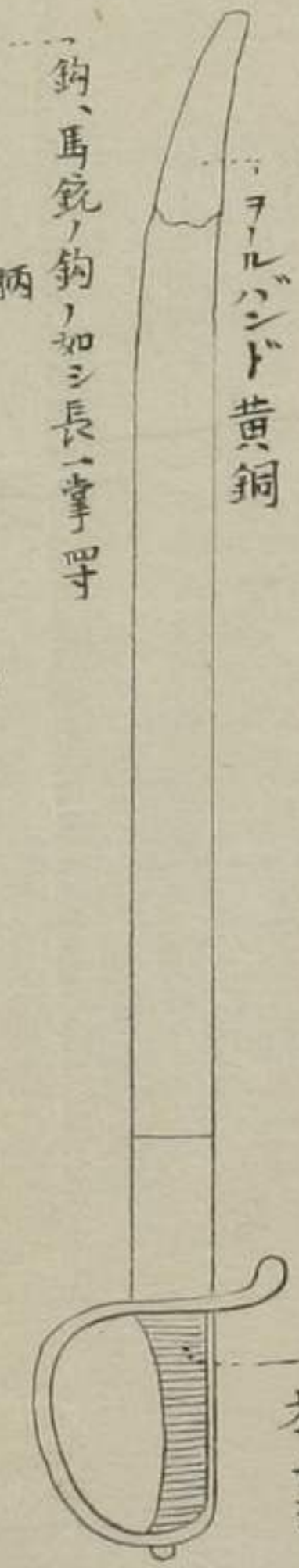
エニールバール  
全重一斤二両五錢



一掌六寸五分

水軍刀

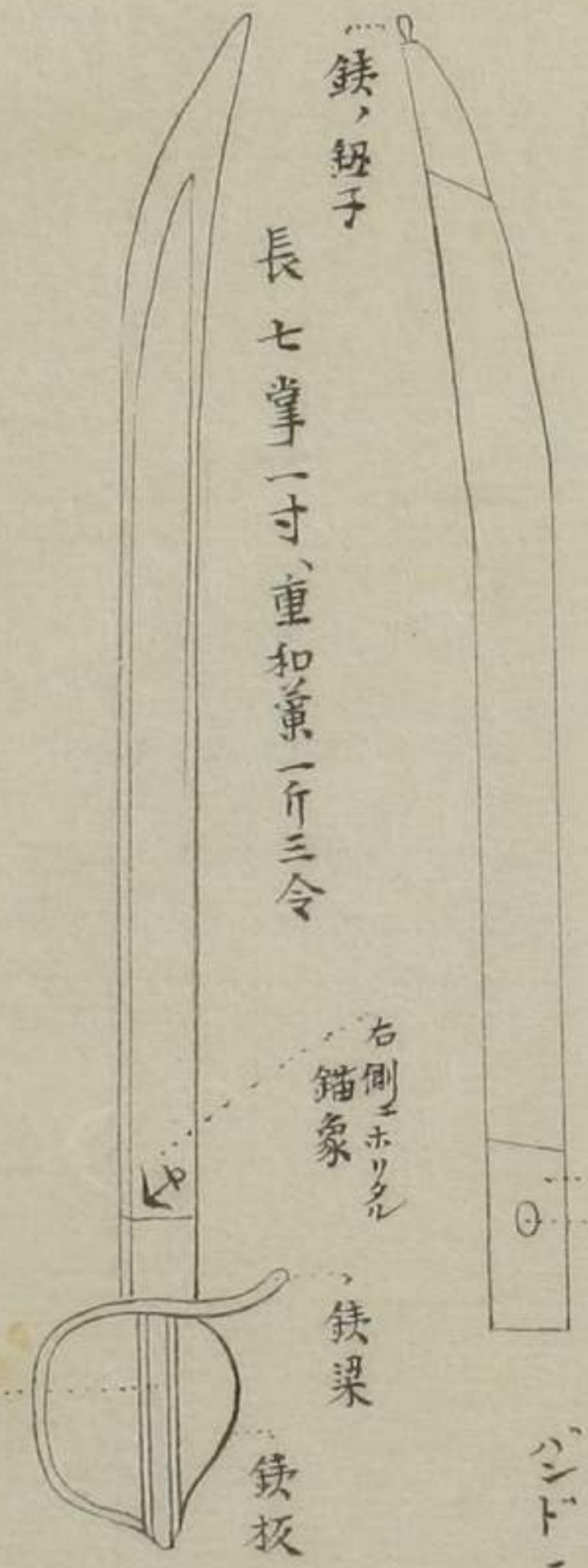
マリニールス サバール  
長六掌七寸重一斤一八



黄銅ニテ造リ鉄板ナシ

船刀

エニールバール



長七掌一寸、重和葉一斤三令

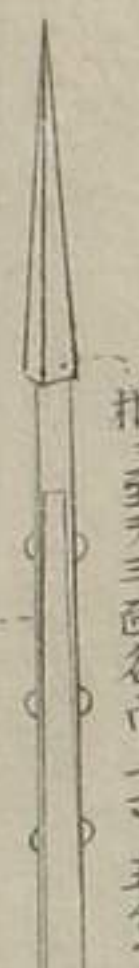
右側ニホリ名 錨象

鉄梁

鉄板

鎗

ピイキ ヌテリイリミク 重一斤一兩



長一掌四寸五分

柄長一エル八掌三寸 径三寸黒ヌリ

羽ニ枚各長一掌五寸五分 三眼アリ累定ス

柄黒皮ニテ包ム



